

広報広聴関係について

各種事業名	概要	開催場所	対象者	内容	教育委員会関係件数 (R1.9定例教育委員会会議以降新たに市のホームページに公開されたもの)
市長とドンドン 語ろう！	市長が各区に向き、まちづくりについて直接市民と対話する。	各区公民館 ホール等	各区内にお住まいの方、勤務されている方	①まちづくりについて〔市長〕 ②意見交換（市長、出席者） (平成27年度開始)	3
市民の 声	市長への手紙	/	どなたでも	広聴課に寄せられた市長宛のもの。	8
	わたしの提言			広聴課に寄せられたもののうち、市長宛のものを除くもの。	

各種事業名	No.	開催日 受付日	提案・要望内容	回答内容
市長と ドンドン 語ろう！ With 外国人 市民	1		<p>■外国人の子どもの中学編入について</p> <p>熊本市は外国人のために様々なことを行っているが、確実に良くなっていることを実感しているが、長く滞在している外国人が思っていることがある。中国人が日本人と結婚し、中国から子どもを日本に連れてきたとき、中国では中学から高校に入学するときに入試はない。そのため、日本の高校に入学するには受験が必要だということを知らない中国人が多く、日本語ができないまま中学3年に編入し、半年後、1年後にすぐ受験になってしまふことがある。そこで、教育委員会での手続きの際、教育委員会からは「国際交流会館に相談してください」、そして、国際交流会館からは、状況に応じて「中学3年は難しいので中学2年に編入した方がいい」などのアドバイスをしてほしい。</p>	<p>〔市長〕高校進学システムについては、本日開設した熊本市外国人総合相談プラザのほか、様々なところで周知していきたい。また、皆さんが教育委員会に直接相談できるよう、同プラザとの連携を図りたい。子どもの教育は、外国から日本に來られた方にとって、とても気になることであると思うので充実させていきたいと考えている。</p> <p>【学務課 追記】外国人の子どもの編入については、手続きの際に語学力等の状況を確認して、保護者と協議の上、学校及び日本語指導教室と連携を図り下学年へ入学できるよう対応している。</p>
	2	R 1 9月	<p>■中国語教室開催のための公的施設の提供について</p> <p>母国語を維持するために中国語教室を15年続けてきた。母国語の維持や外国人の不安、悩みは、外国人同士の間で解決すべきと考える。日本人と長く住んでいる中国人が中国人同士で一緒にいて母国語で会話することによって、不安や誤解を解消することができる。教室の場は何度も場所を変えている。小学校とか公民館などを週末に無料又は安く提供していただくことはできないか。福岡では小学校を提供している例もある。</p>	<p>〔市長〕外国人が母国語同士で話すコミュニティの場を持つことはとても大事だと思うので、公的な場所を開放したり、利用料を減免するなど、使いやすい方法等を検討したい。また、災害など緊急のときや病気のときなどに困らないよう、外国人コミュニティの方が独自で活動しやすい環境を作るということも大事だと考える。</p> <p>【生涯学習課 追記】一部の公民館を除き、ロビー付近にテーブル・椅子を備えた談話コーナーとして市民の方に開放しているため、会話を楽しむ場所として利用していただきたい。また、公民館会議室を一般貸館（事前の団体登録必要）として比較的安価に使用できるので利用していただきたい。</p> <p>【教育政策課 追記】週末の熊本市立学校の教室開放は、警備上の問題から、原則として、一般開放は行っていないが、平日については、9:00～17:00の間で学校教育活動に支障のない範囲での開放は可能となるため、教育政策課にご相談していただきたい。</p>
	3		<p>■小学校でのハラルフードへの対応について</p> <p>宗教上、食べていいもの（ハラルフード）と食べてはいけないもの（ハラムフード）があり、家やコミュニティでは選ぶことができるが、小学校の給食ではなかなか難しい。黒髪小学校区にはイスラム教徒が200人以上住んでおり、今後、多くのイスラム教徒の子どもたちが黒髪小学校に入学することが予想される。日本人の子どもたちにアレルギーの対応をしているのと同じように、ハラルフードへの対応をしてもらいたい。</p>	<p>〔市長〕学校給食に関しては、現在、それぞれの学校が給食室の状況を見て対応を考えている。ハラルフードの対応がなかなか難しいという場合でも、アレルギー対応が必要な子どもたちと同じようにお弁当を持ってきてもらうなどの対応をするといった弾力的な対応を考えている。</p> <p>【健康教育課 追記】黒髪小学校では、可能な範囲で主となるおかずのみ、肉や醤油などのアルコールを含む調味料・加工食品を使用しない特別調理を行っている。対応が難しいものについては、家庭から弁当（おかず等）を持参していただくようお願いしている。また、他の学校においてもそれぞれの実情に応じて可能な範囲で対応している。</p>

市民の声	4	R 1 4月	<p>○各高校への生徒の自転車整備義務化について</p> <p>熊本市内の各高校は生徒の通学用の自転車に整備の義務を課している様である。 そのため3月末からゴールデンウィークくらいまで熊本市内の主要な自転車販売店は私の様な一般客からの修理受付が出来なくなっており困っている。特定の時期の混雑を避ける意味でも熊本市内の中学3年生に時期を分けて3月中旬までに所有する自転車を整備点検する様に指示して頂きたい。日付け入りの整備証明書を発行する様にして「～カ月に一度整備する様に」と各高校共通のルール作りをすれば特定の時期の混雑は避けられると思う。 教職員や教育委員会関係者など教育関係に業務として携わっておられるのならここまで気付いて行動して頂きたい。</p>	<p>ご提言いただきました事柄につきまして、市立中学校に現状を確認いたしました。 高等学校に進学することが決まった生徒は、3月下旬に各高等学校で行われる通学に関する説明会を受け自転車点検を行ったり、新しい自転車を購入したりしています。 そのため、3月末から4月の時期に、自転車販売店での点検や購入になっている現状がございます。 また、熊本市立の高等学校に確認したところ、TSマーク（自転車安全整備士が点検確認した事を証明する付帯保険）等のある自転車でなければ通学を認めていないことと保険期間が1年更新となるため4月の点検が多いということでした。 ご意見を踏まえ、熊本市立の中学校には、一般の方々が、自転車修理の受付ができなくて困っておられることを含め、できるだけ早めの自転車点検・購入を呼びかけていく予定にしています。</p>
	5	R 1 5月	<p>○小学校の部活動とクラブチームについて</p> <p>小学校運動部活動指針により過度な練習時間や土日を潰すような練習・試合を行わないということになったとお見受けする。 一部の部活動を除き、現状、クラブチームという形で代わり「学校ではクラブチームに関与しない」という姿勢で、上記活動指針が守られない現状にある。 具体的には原則土日祝日の練習禁止についてである。 「予定があるのであれば親が休ませて行かせなければよい」というのは重々承知しているが、同調圧力もあり練習日に参加しないのは仲間との人間関係及びレギュラー選抜の際の不利など子供たちにとって大きな影響を与えるのは自明の理である。 学校の敷地を貸している点、同じ学校の子が集まる点から学校は無関係。活動指針は関係無い。と言う回答（当該学校の教頭回答）は理解に苦しむと共に、活動指針を作っていた経緯からも逸脱していると考え。</p>	<p>部活動の社会体育の移行に際しましては、昨年度までに各学校に設置した運動部活動検討会において検討・協議し、関係者の共通理解のもとで方針を定め、移行しております。運動部活動指針は、学校部活動において適用されます。社会体育での活動につきましては、運動部活動検討会での協議を踏まえ、児童の健康にも配慮しながら、それぞれの団体の実情に合わせて設定した曜日や内容で行われているところです。 地域の体育協会や地域総合型スポーツクラブの主管となる社会体育へ移行され、使用料を減免して学校を使用されている場合には、児童の負担が過大にならないように、運動部活動指針に準じた形で活動されております。しかしながら、児童の様子などについて学校が体育協会等と情報交換を行い、著しく児童の負担となるような活動が行われていて改善が見られないときには、学校長が使用を許可しない場合もございます。 教育委員会といたしましても、子どものスポーツ環境が適正で、円滑に活動できますように適宜助言等を行ってまいりたいと思います。</p>
	6	R 1 7月	<p>○市内小学生が利用している学びノート（国語・算数）について</p> <p>小学生の子どもたちは、毎年熊本市教育委員会作製の「学びノート」という教材を学校より持ち帰り、長期休みの際宿題として取り組んでいる。 教科書に沿った内容でとても有意義な反面、1つの単元が表と裏で構成されていること、問題・ポイント・答えが混同してとても見づらい。 小さい子どもたちや支援が必要な子どもたちには情報が多すぎて取り組みにくいと感じる。 すぐに作り直すのは難しいかと思うが、出題の見直しや作り直しをする際、単元毎に見開きで、答えは1番後ろか別紙でとなれば、子どもたちの学習への取り組みがもっと充実するのではと思う。 ご検討の程よろしく願います。</p>	<p>熊本市では、学ぶ意欲の向上や学びの習慣化、基礎学力の定着を図るため、独自の問題集「学びノート」を活用しております。この「学びノート」は、平成16年度、自学自習できるように、表に問題・裏に解答という形で作成しましたが、教科書教材等の変化に応じて内容を見直すとともに、学校から感想・意見をいただきながら、改善に努めてきたところです。しかし、ご指摘のとおり、子どもたち一人ひとりのニーズに沿えない面は否めません。貴重なご意見を生かしてまいります。 昨年度のタブレット端末の導入に伴い、より子ども一人ひとりの困り感やつまずきに寄り添える学習支援アプリの活用が可能になりました。今年度より、冊子版の「学びノート」から、一人ひとりの実態に応じた、ドリル学習ソフトへの、段階的移行を進めているところです。 今後も、一人ひとりの実態に応じた補充学習となるよう、検討を続けてまいります。</p>
	7	R 1 9月	<p>○学校区について</p> <p>子どもの通う小学校は、卒業すると〇〇中学校に進む。その中学校は、広い範囲から入学するの、通学に相当の距離を要するところがあり、特に、我が地域はそれが顕著である。あくまでインターネットでの検索だが、43分かかる。自転車通学が出来ればとも思うが、それは叶わないようである。ちなみに近くにある△△中学校までは、25分で着くし、道も一本道で、娘を通わせるには安心である。 簡単なことではないことは承知しているが、△△中学校に通えれば助かると言っている地域の方も多い。片道、20分弱違うのでそういう意見が出ることは、必然だと思ふ。</p>	<p>通学距離につきましては、学校が校区の中心とは限らないことから、通学が近い子ども、遠い子どもと差が生じている所であります。 このような状況において、子どもたちは校区の地域住民と共に生活し、見守られながら居住地の指定されている学校に通学しています。また、中学校進学するにあたり、小学校からの友だち関係を継続することで不安や負担が少なく進学することも考えられ、お住まい地域の子どもたちも校区の学校へ通学しておりますことを踏まえまして、校区の学校への通学にご理解いただきますようお願いいたします。 なお、身体的な事情等による子どもの校区外通学については、状況確認を行い検討することとしておりますので、教育委員会学務課へお尋ねいただきたいと思います。</p>

市民の声	8	R1 9月	<p>○図書館ホームページのメンテナンスについて</p> <p>図書を検索しようと思って図書館のホームページをみると、下記の案内がある。通年利用を停止してシステムメンテナンスをする必要があるのは、よほどシステム設計が悪いのだろうか。他の機関では、見たことはない。インターネットからの図書館の利用の利便性をどのように考えているのだろうか。この取り扱いは早急に改善をお願いする。</p> <p>■熊本市立図書館ホームページの休止について</p> <p>■システムメンテナンスのため、下記のとおりご利用できません。 大変ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくをお願いいたします。 ・通年 4：00～6：00</p>	<p>図書館ホームページに掲載しているとおり、システムメンテナンスのため通年4：00～6：00までの間は図書館ホームページをご利用いただくことはできません。システムメンテナンスは、業務データの更新など図書館のシステムを運用するうえで毎日必要なものであり、比較的用户者の少ない夜間に実施しています。</p> <p>なお、令和元年10月2日（水）から稼働する新しいシステムでは、メンテナンスに要する時間を短縮することとしております。</p>
	9	R1 10月	<p>○育成クラブに関する質問について</p> <p>育成クラブの基準を設けていないのは指導者の数もだが、児童ひとりあたりの施設の広さもだと思ふ。生活空間は心身におよぼす影響が大きいと思うので、最低でも広さの基準は定めたほうが良いと思う。</p>	<p>育成クラブ施設の広さにつきましては、国が児童1人あたり1、65㎡の基準を設けており、本市においてもその基準に基づいて運営をしています。ただ、基準を満たさない狭隘なクラブがあるため、順次整備を行っているところです。</p> <p>今後も適正な育成クラブの運営に取り組んでまいりますので、お気づきの点がございましたらご意見いただけますようよろしくお願いいたします。</p>
	10	R1 10月	<p>○小学校の校内放送について</p> <p>ある小学校の屋外に向けた放送の音量が大きくないだろうか。</p> <p>児童教師に向けたものであれば別に構わないが、誰も居ない校庭に向かって音楽をかけ大音量放送するのは迷惑である。</p> <p>運動会時期は練習するので我慢するが、平日は教室内だけの放送で十分で屋外は音量を抑えてもいいのでは。</p> <p>遅刻してくる数人の児童のための大音量放送だろうか。</p> <p>具合が悪い時ゆっくり寝ることもできない。必要であればビデオ録画してもいい。</p>	<p>小学校では、日頃からご近所のご迷惑にならないようと考えて放送を行っておりますが、配慮が足りないところがあったようです。</p> <p>現在、始業時、掃除時間及び下校時の3回、室内だけではなく屋外にも放送を行っております。今後は音量を小さくして放送を行うとともに、雨天時の掃除時間の放送は室内のみで行うようにいたします。また、その他の放送の際にも、適切な音量で放送を行うことを心掛けます。</p> <p>今後、放送を行う際には、今まで以上に配慮するよう全職員の共通理解を図りますとともに、放送委員会等で放送を行う児童への指導も徹底いたします。</p>
11	R1 10月	<p>○熊本市の図書環境について</p> <p>今回、市が市民1人当たりにかける図書購入費用をもっと上げてほしく筆を執った。私は市内に住んでいるが、母が他市に住み、夫が他市で働いているため、他市の図書館を利用することがある。しかし、他市の図書館の図書の豊かさは、一番近くの公民館図書室に比べ、優れていることを以前より感じていた。それで、一人当たりに掛けている図書費用を調べたところ、市は一人当たり110円前後、他市は300円以上や306円ということが、今回、図書館に問い合わせたわかった。</p> <p>また、10月11日に人気の書籍を図書館から借りようとして問い合わせたところ、市は1年待ち（70人以上）、他市は2ヶ月半待ちや2週間待ちであった。この事実からも、いかに市の図書貸出状況が市民の要求にそぐわない点を持つことを、理解してもらえないのではないだろうか。一度、公民館図書室や他市の図書館に足を運んでほしい。その図書館のあり様も肌で感じてもらえると思う。</p> <p>現在、私は教職を離れ、通訳や発達特性を持つ子供の放課後ケア等をしている。最近、小学校ではデジタル教育や英語教育が始まっているようであるが、日本人がまずつけるべきは何より国語力だと感じている。日本人としての根っこがしっかりしてこそ、その土台の上に、デジタル教育や英語教育がなされて、初めて独自性が将来発揮できるという教育観が私にはある。10月12日付けの新聞記事、PISA調査でも、日本の読解力は先進国の中で理数系に比べて低い所に位置している。</p> <p>今後、グローバル化・IT化に対応した力はもちろんのこと、人工知能（AI）に取って代われない資質、能力の獲得を目指すためにも、まずは身近な図書館及び書籍の充実を今後の市の目標の一つに掲げてもらえないだろうか。図書の充実こそが、市内の子供達の宝となることを信じ、検討課題として考えてほしい。</p>	<p>ご要望が多い書籍につきましては、冊数を多く購入することとしており、お待ちの本については多めの8冊をご用意しておりますが、お待たせしまして申し訳ございません。</p> <p>公民館図書室は市内に15か所設置しており、地域の皆様の身近な学習の場としてご利用いただいておりますが、公民館に併設の施設のためスペースに限り本の蔵書数も限られているところです。</p> <p>図書館・図書室の蔵書は約157万冊であり、ご予約いただいた本はご希望の図書館・図書室でお受け取りができるのでご利用ください。11月1日からは、電子書籍の貸出サービスを始めましたので、図書館などへおいで頂くことが困難な方にもご利用いただくことが出来るようになりました。また、電子書籍では音声朗読サービスや文字拡大機能などの便利な機能もお使いいただけます。</p> <p>ご意見のとおり、読書は特に子どもの成長には欠かせない重要なものであると考えており、図書費につきましては政令指定都市の中では標準的ではありますが、今後も市民の皆様のご意見や社会環境の変化や技術革新の動きを捉えながら、図書の充実を図ってまいります。</p>	